

ひと雨ごとに暖かくなり、校内の樹々も芽吹き始めた今日この春の佳き日に、さいたま市教育委員会教育委員 野上武利様、PTA会長 八須有子様をはじめ、多くの御来賓の皆様、並びに保護者の皆様の御臨席を賜り、さいたま市立大宮西高等学校第五十五回卒業証書授与式を挙行できますことは、大きな喜びです。

二四三名の三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、お子様をこれまで慈しみ育てて来られた保護者の皆様、誠におめでとうございます。立派に成長されたお子様の姿に、感激もひとしおかと拝察いたします。私自身、入学式以来、皆さんとともに三年間を過ごすことができ、今日こうして卒業の日に臨めることを心から嬉しく思います。

三年前の入学式で、私から皆さんにお話しした中に、次のような一節がありました。

「私たち教職員一同は、今日この日から、大宮西高校を選んでくださった皆さんの期待に一丸となって応えます。皆さんの夢、希望、目標の創造と実現に向けて、できる限りの支援を惜しまない覚悟です。しかし、頑張るのは皆さん自身です。皆さんの夢、希望、目標を見つけ、努力して叶えるのは、ほかの誰でもない皆さん自身です。」

こうした話を、十五歳の春に皆さんはどのように受け止めたのでしょうか。これから三年間の高校生活をどう送るかと思いを巡らせた人もいるでしょう。あるいは、三年後の次なる進路に目を向けた人もいるでしょう。そして三年間の高校生活の中で、様々な夢や希望や目標を思い描いたことだろうと思います。

たとえどんな夢や希望や目標であっても、その実現を追い求めていく上で皆さんに忘れてもらいたいことを、入学から卒業まで、私は繰り返しお話ししてきました。

それは「自分たちの未来をあきらめない、人任せにしない」ということです。自分自身の進路や将来のことはもちろんですが、それだけではありません。

「世界を、この世の中を、今よりもっと良くするために、これから自分に何ができるか、何をしたらよいか」ということを、年越しの宿題として、三年続けて皆さんに考えてもらいました。

「自分の考えや行動が世界を変えていくなんてあり得ないし、大袈裟じゃないか」と思う人もいるでしょう。しかし、そんなことはありません。また、「自分のことだけで精一杯で、世界を良くするなんて考える暇など無い」と言う人もいるでしょう。しかし、それで良いのでしょうか。

なぜなら、皆さんが日々どういう心持ちで生活するかによって、皆さん自身の未来は違う道を進んでしまうでしょうし、個人の集合体として成り立つ「世界」のあり様も、異なるものになっていくからです。

確かに「たいしたことはできない」かも知れません。しかし、これまでに何度もお話ししてきたように、「たいしたことはできない」と「何もできない」は違います。「世界中の人々」とか「困っている全ての人」に対してはできなくても、自分の目の前にいる人、自分の身近にいる人にだったら、何かできるかも知れない。自分にできるその「何か」が、すぐに世界平和に結びつかなくても、人を優しい気持ちにさせるとか、思いやりの輪が広がるとか、ほんの少しずつでも、世界をより良い方向に向かわせることができるのだと、私は信じています。

自分一人の考えなんて所詮ちっぽけなもので、世界を変えることなんてできやしないと、あきらめてはいけません。自分が何もしなくたって、やる気のある誰かが上手くやってくれるだろうと、人任せにははいけません。自分の、自分たちの、自分たちに続く者たちの未来をあきらめないこと、人任せにしないこと。そして、そのために自分には何ができるのか、何をすべきなのか、これからの生涯、常に自分自身で考えて、意識して行動してください。

これが、卒業してゆく皆さんへ、大宮西高校が与える最後の宿題です。宿題の答えは、あなた方一人一人の未来にあります。夢や希望や目標を追い求めるあなた方自身の意識と行動が、自分たちの未来を作っていくのだ、世界の行く末に繋がっているのだということを忘れないでください。

皆さんは、本校が三年後に中等教育学校へ改編されるということを承知で進学先として選び、入学してくれました。そのため、三年生になる昨春に後輩となる新入生は入学して来ませんでしたし、二年生の夏からの工事によって、不自由な環境での生活を余儀なくされて来ました。しかし、そんな逆境の中でも、皆さんは本校ならではの文化祭や体育祭、修学旅行や球技大会など、いくつもの学校行事に全力で取り組み、それらを存分に楽しみながら、己を磨き、仲間意識を育み、自らの進路目標に向かって努力してきました。

皆さんからはこれまでに、前向きに頑張っている姿をたくさん見せてもらいました。それこそが「西高の誇り」です。卒業してもなお、あなた方一人一人の前向きな取組のすべてが「西高の誇り」なのです。

あなた方がこれからの人生の中で様々な困難に直面した時に、周りから「どうしてあなたは、いつもそんなに前向きに考えたり行動できたりするのか？」と訊かれたら、胸を張って答えましょう。「だって大宮西高校の卒業生ですから。」

私はこれからもずっと、あなた方の前向きな活動に、あなた方が作る「より良い世界の未来」に期待しています。

結びに、これまで本校の教育活動に深い御理解と温かい御支援を下さいました御来賓の皆様、並びに全ての保護者の皆様に、心より篤く御礼を申し上げ、式辞といたします。

平成三十一年三月二日

さいたま市立大宮西高等学校長 関田 晃